

令和6年3月18日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和6年 3月 18日（月）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	2人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2

【行政からの伝達事項】

・令和6年度からの制度改正について、集団指導実施予定にて参加をお願いしたい。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名）

平均年齢 91歳 平均介護度 2.1（1～5）

退去～1名（特養へ転居） 入居～1名 入院～1名

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 新聞折り・塗り絵・ちぎり絵・体操・下肢訓練
- ・ 季節行事～ひな祭り 茶話会

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 3件（転倒～2件・打撲～1件）
- ・ ヒヤリハット 1件（転倒の危険性）

【職員研修】

- ・緊急時の対応研修～職員 1 名参加

【その他】

○転倒事故について

- ・ホーム内を自由に歩かれている方に対し、常に見守ることも出来ず、動きの制限も出来ない為、杖や歩行器等の補助具も活用しているが、使用するのを忘れる事も多い。又、年齢が 90 歳以上の方が多く歩行も段々と不安となっている。夜間はトイレ等は職員が介助し転倒を防ぐようにはしているが、夜間は職員 1 名で対応しており、特に朝方は同時の介助等への対応は限界がある。



(参加者の方より)

- ・転倒しなくても、圧迫骨折等の状態になる方もおられると聞いた。転倒以外にも骨折する事もある。
- ・東京であった福祉機器の展示会に行ったことがあるが、勉強になった。色々な福祉機器があるので、見たら参考になる。

○自然災害時の備えについて

- ・ハザードマップでは避難場所がふれあい会館になっているが、土地が低い為心配な面がある。



(参加者の方より)

- ・水害時はホーム留まる方が良い。ふれあい会館は低い場所にある為、水害や津波の際は市民体育館が指定となっているが、近場の方が良い為、新しく消防署が出来る為、そこの方が安全だと思う。
- ・地域としても、新しく消防署が出来る場所の敷地がかなり広い為、臨時の避難場所設置を陳情中である。
- ・全国でも益田市は災害が少ない地域ではあるが、災害対策はして欲しい。
- ・4 月に防災研修会があるので、次回報告します。

○地域行事について

- ・ふれあい会館祭りがあった。来年はホームで作成した作品等があれば展示参加してください。
- ボランティアの受け入れが可能になれば、地域の方に声をかけるので言って欲しい。